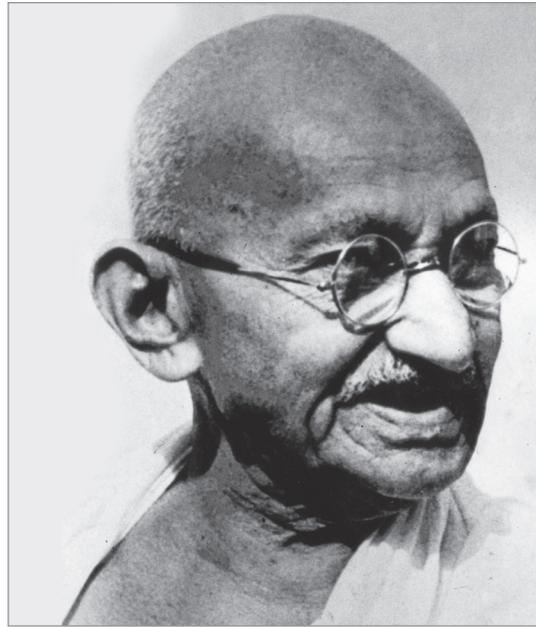




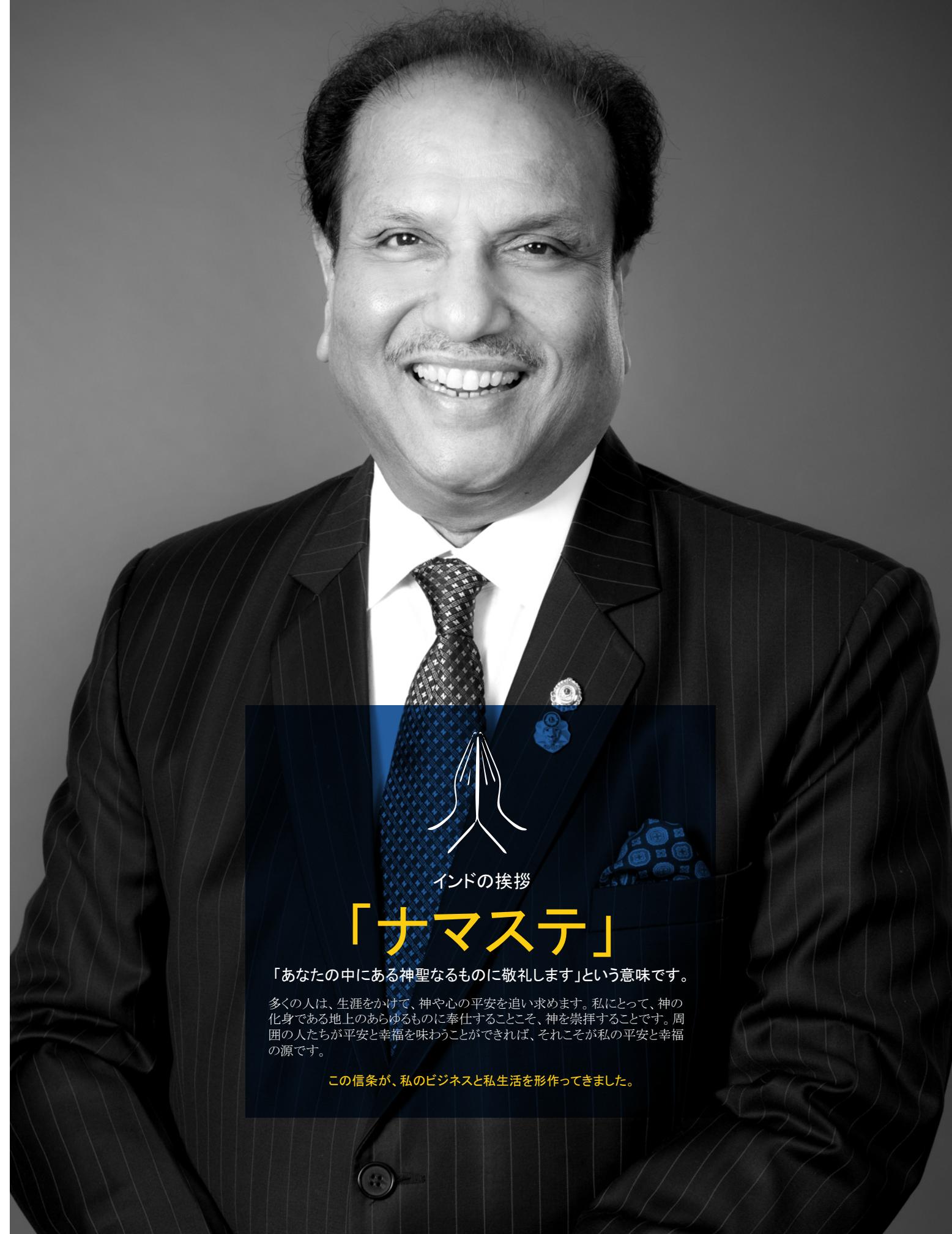
**WE**  **SERVE**

2017～2018年度国際会長 ナレシュ・アガワル



“ 他者への奉仕に  
自らを没してはじめて  
私は自らを見出した ”

マハトマ・ガンジー



インドの挨拶

# 「ナマステ」

「あなたの中にある神聖なるものに敬礼します」という意味です。

多くの人は、生涯をかけて、神や心の平安を追い求めます。私にとって、神の化身である地上のあらゆるものに奉仕することこそ、神を崇拝することです。周囲の人たちが平安と幸福を味わうことができれば、それこそが私の平安と幸福の源です。

この信条が、私のビジネスと私生活を形作ってきました。



# WE SERVE.



“

私は、インド北西部のパンジャーブ州にあるバタラという町で育ちました。天下を取ることを夢見る、典型的な少年でした。しかし、それを達成する手段こそが私にとっては重要でした。私は、思いやりで人を動かしたかったのです。

私はバタラだけでなく、世界全体を変えることを夢見ました。1974年、はじめてライオンズたちの前に立った時、私は、今加わったこの組織こそ私の長年の夢を叶えさせてくれる場所だと確信しました。

われわれライオンズは、世界の人々とひとつです。サンスクリット語では、「**ヴァスダイヴァ・クトゥンバカム**」、**世界は私の家族**(人類みな兄弟)と言います。

世界を一つの家族、一つの家にするカギは、私たちが握っています。他人の必要を満たすために身を投じる、140万人のライオンズの手にかかっているのです。もしも、ライオンズのメンバー1人につき毎月10人に奉仕をすれば、われわ

れが目指す、現在の3倍の奉仕、年間2億人の奉仕目標は簡単に達成することができるでしょう。

他者への奉仕こそが、私たちの本質です。私たちがグローバルな組織として存在する、理由そのものです。それを誰にでも分かりやすい言葉で表すのが、私たちのモットー、「We Serve(われわれは奉仕する)」です。国際会長就任に向けて準備する中で、私は何度もこの言葉に立ち返ってきました。私のテーマを表す言葉として「We Serve」を誇りを持って掲げます。われわれのモットーは不朽です。その意味は1917年から今日まで失われておらず、私たちが奉仕の次世紀へと導いてくれます。

2015年、ホノルルにおける国際大会で、私は申し上げました。「時代にかんがって生まれた発想ほど力強いものはない」と。私たちが待ちに待った時が—新しい世紀が—今、やってきたのです。

”

“人々に、私たちの理想を伝えよう —  
世界は一つの家族なのであって、  
明日に怯えながら眠りにつくような子供がいては  
ならないのだと”

THE POWER OF ACTION 行動の力

# 大河のように

多くの都市は、川沿いに広がり、繁栄します。インドでは、国内最長の川、ガンジス川が神格化されています。現地では「ガンガー・マー」(ガンジスの母)と呼ばれ、ちょうど「母なる大地」という言葉と同じように使われます。

なぜガンジス川が、母、あるいは崇拜の対象とされているのでしょうか？それは、ガンジスが命を生むからです。川が植物を養い、植物が人や動物を養います。川が、貿易や移動を可能にします。そして、自らと周りの環境を絶えず浄化し、よみがえらせます。インドでは、何億という人々がガンジスの恵みにより生かされています。

ライオンズクラブもこれに似ています。「私たちの川」は、100年の間に47,000以上の地域社会(クラブ)に支流を増やしてきました。今、私たちは新たなアイデアや事業案によってクラブを絶えずよみがえらせ、世界中のあらゆる地域社会に、この川を流れさせなければなりません。

## 行動の力

ライオンズは、世界中のほとんどの地域社会に存在しています。この存在を、力ある奉仕へと

変換していくためには、メンバー一人ひとりに行動の力を吹き込まなければいけません。

社会でも、職場でも、行動のカギとなるのは、あらゆるメンバーを関与させることです。仲間のメンバーに尽くしてはじめて、私たちは地域社会に尽くすことができるようになります。ライオンズのリーダーには二つの手があります。一つは、地域に奉仕するため。もう片方は、仲間であるライオンズの会員に奉仕するためにあるのです。なるべく多くの急務に対応することができるよう、資金、人、時間を最大限に活用できる事業を選びましょう。

## 会員が増えれば奉仕も増える

ライオンズクラブは、人を集めます。人が集まれば、多くの実りがあります。友情が生まれ、リーダーが選ばれ、計画が立てられ、地域社会がよりよい場所になります。しかし、行き着くところはただ一つ、「奉仕」です。私たちがひたむきに目指すのは、昔も今も変わらず、困っている人に奉仕することです。

1917年から1987年までに、ライオンズの会員は140万人にまで増えました。1日に54人ずつ増えた計算です。これは驚異的な成長率であり、ライオニズムの力の証でもあります。それからの約30年間も、ペースは落ちたものの、私たちは成長を続け、新しい国々に広がってきました。しかし、もっとできるはずです。

## 新たなメンバー：女性と若手

世界人口の半数は女性。また半数以上は30歳以下です。しかし、ライオンズの会員はそのほとんどが30歳以上の男性です。

このギャップを縮めることこそ、協会発展のカギであり、より多くの恵まれない人に奉仕することに繋がります。

女性は組織内で最も急成長を遂げているグループではありますが、女性にライオンズの門戸が開かれて30年以上が経過しているにも関わらず、全体で見ると女性会員数は27%に留まっているのが現状です。また、若手メンバーもあまりに少ないですし、アフリカ、南米、ヨーロッパなど歴史豊かな地の会員もまだまだ足りません。こうした課題のすべてに解決策を見出さなければなりません。

引き続き、女性をリーダーに抜擢していく必要がありますし、女性たちの期待や思いに応える事業を行っていかなくてはなりません。若い人たちがどんな理由でボランティアに携わるのかをよく理解した上で彼らに働きかけ、世界をより良くしたいという夢を、ライオンズでなら実現できると伝えなくてはなりません。

## 新会員を1人増やせば もう70人に奉仕できる

2021年までに年間2億人に奉仕するという目標に到達するためには、新会員を増やし続けることが必要不可欠です。



団結の力

# THE POWER OF WE

100年の成果

団結の力

## THE POWER OF WE

私たちは奉仕を必要とする人たちのために立ち上がります。

140万人  
X 週2ドル

年間1億4,500万ドル

140万人  
x 週1時間の奉仕

年間7,300万時間の奉仕



行動の力

### THE POWER OF ACTION

世界に変化を望むなら、われわれ自身がその変化にならなければなりません。

世界人口の40%が貧困層という現実を、私たちなら変えられる。

奉仕の力

### THE POWER OF SERVICE

メンバーの輪が広がれば、世界の問題は小さくなります。

# 会員が増える = 奉仕が増える

最初の100年間で、ライオンズは現在の140万人という規模に成長しました。シカゴのたった一つのクラブを、200以上の国や地域、47,000クラブへと広げるまで、熱心にその思いを伝え続けた多くの先達には敬服するばかりです。

### 140万人のライオンズにできること

もし私たち全員が奉仕事業のために月々もう10ドル寄付すれば、全体で年間1億7千万ドルの財源増となります。もし私たち全員が週に1時間多く奉仕をしたら、年間の奉仕時間がさらに7,300万時間増えます。

### 必要なのは意識改革

人々の暮らしを楽にするため、日々、テクノロジーや医療、経済など、さまざまな分野で革命が起こっています。それなのに、7億9,500万人(世界人口の11%)は飢餓にあえいでいます。

低所得国で飢えた人に1年間食糧を提供するため必要なのは、たったの160ドル。この金額(7億9,500万人×160ドル)は、世界の恵まれた人10億人が1日たった35セントを出せば集まります。これこそが、「パワー・オブ・ウィ(we)」、私たちが持つ力なのです。

人々が皆の幸せのために協力すれば、世界で最も困難な問題でさえも解決が可能です。

### 協会のモットー「ウィ・サーブ」が今年のフォーカス

「ウィ・サーブ」はパワフルな表現です。「We(われわれ)」という言葉は140万人の会員の総力を象徴するものであり、「Serve(奉仕する)」は、世界で最も切迫したニーズを満たすため、財源を1ドル残らず奉仕に変えていく、明白で断固たる私たちの行動を表しています。

### 団結の力

「パワー・オブ・ウィ」は、私の力があなたから、あなたの力が私から来ることを示す言葉です。私一人で車を持ち上げることはできませんが、力を合わせればできます。1人の人が農村に教育をもたらすことはできませんが、志を同じくする人が集まれば、できます。メンバーの輪が広がれば、世界の問題は小さくなります。

私たち全員が一つになれば、不可能は可能になります。

### 「ウィ・サーブ」は私たちの大切な特徴、「絆」を表現する

ライオンズは互いにつながっており、またそれぞれの地域社会とつながっています。それぞれ個別のつながりが鎖のように集まり、切れない絆を形成しています。140万の強固な連結が作り出す鎖は、大きな善の力となります。



ライオンズクラブ国際協会  
国際会長ナレシュ・アガワル  
2017～2018年度  
WE SERVE.

## 未来は今ここに

グローバル人道奉仕の第2の世紀に突入しようとする今、変容を続ける世界のニーズに合わせて私達自身が進化しなければなりません。ライオンとして、なんともやり甲斐を感じる時です。

私たちが掲げる新たな戦略、「LCIフォーワード」は、ライオンズが未来に向けてビジョンを描き、実行し、現実のものとするため、そして増え続ける世界のニーズに対応するための、道しるべとして考案されたものです。この新たな戦略プランは、私たちの奉仕の枠組みをより良いものとし、世間一般のライオンズのイメージアップを図り、クラブや地区そして組織全体の運営体制を向上し、さらに今いるメンバーの会員体験をより充実させつつ新たなマーケットを開拓することを目指します。ライオンズ・モバイルアプリのような新たな手法(プロダクト)により、会員たちは、奉仕のアイデア・写真・動画・情報の交換など、これまでになく互いにつながることができるようになります。

われわれは世界中に、世界の問題がいかに大きいものであるか、しかし全員が力を合わせればそれがいかに解決しやすくなるかについて、知らせなければなりません。

グローバル人道奉仕の第2の世紀を迎えるこのようなおめでたい時に国際会長を務めさせていただくことを、大変誇りに、また光栄に思います。

1917年6月7日、シカゴのラサール・ホテルで経営者メルビン・ジョーンズが大胆な構想を発表しました。それは、滅私奉公の基本原則に基づく組織を作るというものでした。多くの人は半信半疑でした。そんなことはできないと考えたのです。しかし、今日、それは現実となっています。今日、140万人が、他人に尽くした彼の足跡をたどっているのです。

人生で、夢を叶えることほど大きな喜びはありません。奇跡を起こすことも同様です。どう

か、一番手の届かない夢を選び、それを叶えることに生涯を費やしてください。人生のあらゆる瞬間に生きがいを感じられるような夢を選んでください。皆さんの国際会長になれたことは、私にとってはまさに夢の実現でした。しかし、それは夢のほんの一部です。残りは、ライオンズのメンバー全員と共有する夢です。それは、世界中の子どもたちが、自分を大事にしてくれる幸せな家庭で育ち、立派な大人になるためのあらゆる機会を与えられることです。ガンジーのように、この夢に自らを投げ打とうではありませんか。それこそが、自らに出会える場所なのですから。

新しい奉仕フレームワークと、新たな奉仕分野としての「糖尿病」の追加、奉仕プログラムの見直し、新たなマーケティング技術の取り組み、意欲的なLCIフォーワード世界戦略、そして新たな100年を目前に控えた今、未来は私たちのものであり、未来は今ここにあります。

私は常々、この世を去る時には、この世に来たときよりも世界がより良い場所に、後の代にとってより住みよい場所になっていないと考えるようになりました。この信念は、クラブ会長になった時も、地区ガバナーになった時も、国際理事、国際副会長になった時にも私の指針となりました。そして国際会長となった今、皆さんのお力添えをいただきながら、引き続きこれが私の指針となるでしょう。力を合わせて、奉仕の伝統をさらに拡大していくのです。

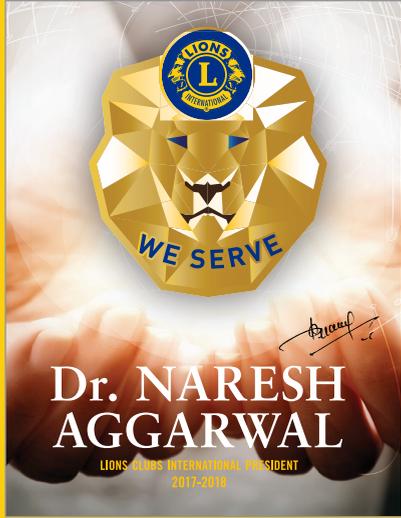
今こそ、行動の時です。私たちなら人々の力になれます。いえ、なるのです。皆さんお一人おひとりが、いつまでも続く影響を与えることができます。私と手に手を取り、次世紀に向け「年間2億人への奉仕」を目指しましょう。



“ 共に、私たちは「団結の力」を発揮します。  
行動を起こします。  
世界を皆にとって住みよい場所にします。 ”



すべてのライオンズに、  
「ナマステ」。



**Dr. NARESH  
AGGARWAL**

LIONS CLUBS INTERNATIONAL PRESIDENT  
2017-2019